

学校だより

川中 TIMES

Trying for your dreams

佐賀市立川副中学校

学校通信 第23号

令和8年2月5日

文責 校長 馬郡直樹

2月全校朝会
開催

卒業式には「正解」を

2月4日（水）にオンラインで2月全校朝会を開催し、校長から3年生のある行動を紹介し、「学校の主役は生徒」「主体的に行動することを大切に」という内容の話をしました。以下、概要です。

川副中では、日頃から生徒の皆さんの主体的な活動や挑戦を大切に、先生達で応援している。自分たちで考え、自分たちで動き、そしてよりよい学校生活をつくっていく。そうした生徒の姿こそが、学校を生き生きとした場所に、また学校が楽しいと思える場所になっていくと思う。

12月某日、3年生 NKさんとKHさんから「卒業式で歌う曲を、RADWIMPSの『正解』にしたいと思っています」という提案を受けた。「自分たちで卒業式をつくりたい」という強い思いを感じ取ることができた。私は、「とてもいい考えだと思う。ぜひ仲間の声を集めて、先生たちに伝えてみたら。応援する」と伝えた。自分の考えを大切にしつつ、周囲と話し合い、みんなの思いとして形にしていく。そのプロセスこそが、人生の中で役立つ能力だと思う。その後、伴奏は誰がするかなど、課題があったが、実現するために、考え、工夫し、時には壁にぶつかりながらも、行動を重ねていき、伴奏の候補者をお願いをした。その結果、3年生 HSさんが県立高校の入試に挑みながら、伴奏についても承諾してくれ、卒業式で『正解』を歌うことが実現することになった。

私は、この一連の行動を、本当に素晴らしい行動だと感じている。決して「自分だけがやりたいからやった」という個人的な行動ではなく、みんなの意見を大切に、そして多くの人が喜ぶ形を目指した行動だったからである。この行動により、卒業式が、より心に残る、温かいものになると思う。行事も、雰囲気も、毎日の学校生活そのものも、皆さん一人一人の行動によって形づくられている。今回の3年生の行動は、まさにその言葉を行動にしたものだと思う。

おすびに、これから、「こうなったらいいな」「もっと良くできるのではないか」という思いを大切にしてほしいと思う。このような主体的な行動が、皆さん自身の成長にもつながり、学校がより良い場所になっていく。

今回は、1年2組YSさんとYHさんが立派に司会を務めてくれました。二人の感想は次の通りです。YSさん「全校の前で話をするとはとても緊張したが、ミスなく言えたのでよかった。このチャレンジを生かしたい」 YHさん「全校生徒の前で緊張したが、うまく司会ができた。このチャレンジを次に生かしたい」

2年生で自問清掃検定をしました。

1月30日（金）に学校評議員の副島久美子先生他を審査員として、自問清掃検定を行いました。この検定は、自問清掃の手順の確認と自問清掃で培われた気持ちを生活の中で生かすことを目的として開催しました。審査の観点としては、①基本動作ができているか ②時間いっぱい無言で集中しているか ③他の人の心をくみ取りながらできているか の3観点です。

検定後、副島先生から2年生全生徒に対して「ホコリを気にしながら、清掃を頑張っている姿は素晴らしかった。塵取りもしゃがんで丁寧に行っていたが、埃が少し残っている時は、雑巾でふき取れば、さらにきれいになる。机などを運ぶときは、音がしないように戻すことで落ち着いた感じなので取り組んでほしい」とコメントをいただきました。

写真は配布した通信で御確認ください。

自問清掃検定の様子＝校舎3階

職業人講話 開催

夢は見るものではなく、叶えるもの

1月23日（金）に1，2年生を対象に「職業人講話」を開催しました。この学習は、生徒が自分の将来を具体的に描き、学ぶことの動機付けのために貴重な機会となるものです。

今回は、会社員兼プロダンスインストラクターの江口遼さん（COSMOSさん）、プロダンスインストラクターの江口さくらさん、県庁職員兼チアリーダーの真谷友紀さん（現トヨタ紡織九州オフィシャルパフォーマー、前佐賀バルーンズチアリーダーのキャプテン）の3人から講話をしていただきました。江口さんからは、高校生の時にダンスに出会い、大学時代にはダンスに明け暮れたこと。目標を見失った時期もあり、大学を中退した。選択肢が少なくなるので勉強はした方がいい。そんな中、叱ってくれた先輩のおかげで人生立ち直ることができた。叱られることは悪いことではない。今は感謝している。将来の夢を実現するためにも思い切って挑戦してほしい。

真谷さんからは、学生時代に競技チアダンスに出会い、全日本選手権を優勝したものの目標を達成できず、挫折を味わった。悔しい思いをしたおかげで、今もチアダンスに関わることができている。土日にチアがあるので、月曜日から金曜日の仕事に身が入る。みな

さんも、焦らず積み重ねていくことが大事だと思う。「夢は見るものではなく、叶えるもの」であり、夢の実現のために、努力をして小さな目標を一つずつクリアすることが、将来のキャリアにつながる。

講話のあと、講師の先生3人から簡単なダンスのレクチャーをしていただき、みんなで笑顔でダンスをして、この学習を終えました。

生徒の感想は、2年1組 TM さん「みんなでダンスを踊れてとても元気ができました。踊っていたら楽しくて張り切って踊りました。周りの人を大切に、縁を大事にしたいと思いました」 1年1組 MI さん「友達を大切に、たくさんのことにチャレンジしたいと思いました。新しいことをする時は時間をかけて成功させたいと思いました」 1年3組 OM さん「怒られるのは嫌いだけど、話を聴いて怒られてもいいじけるのではなく反省し、怒ってくれた人に感謝しようと思いました」

実行委員として会を運営してくれた2年1組 HM さん、NA さん、2年2組 SM さん、NR さんありがとうございました。

写真は配布した通信で御確認ください。

講師の江口夫妻と真谷さん＝川中体育館

写真は配布した通信で御確認ください。

真谷さんの講話スライド

Kawasoe
Challenge and Challenge
TOPICS

みんなの表彰

第8回佐賀県デッサン大会 県特選 2年2組 ES さん

第18回コイケスポーツ杯 U-14 佐賀県地区選抜交流大会

第2位 2年1組 IK さん

第2位 2年2組 ES さん